

高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第27週（7月2日～7月8日）

★ お知らせ

○ ヘルパンギーナに注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.97から3.10に増加しました。飛沫感染、接触感染により感染するので、外出後、食事の前、トイレの後などに手洗いをすることが大切です。患者自身はもちろん、周りの人も、意識的に手を洗いましょう。治った後も3～4週間は便にウイルスが排泄されるため、タオルやコップ等を共用することは避けましょう。

○ 百日咳に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.37から0.40と少し増加しました。患者の咳やくしゃみ、唾などのしぶきに含まれる百日咳菌により飛沫感染及び接触感染するので、咳エチケット、手洗いを心がけてください。定期的予防接種は生後3ヶ月から接種が可能です。かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く接種期間内に必要回数受けておく事をお勧めします。

○ 伝染性紅斑に注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.77から1.33に増加しました。飛沫感染、接触感染により感染します。紅斑が出る1週間位前に微熱や感冒様症状が見られる事が多く、この時期に感染力が強くなります。予防法としては、日頃からの手洗い、うがいの励行です。

○ 咽頭結膜熱に注意して！

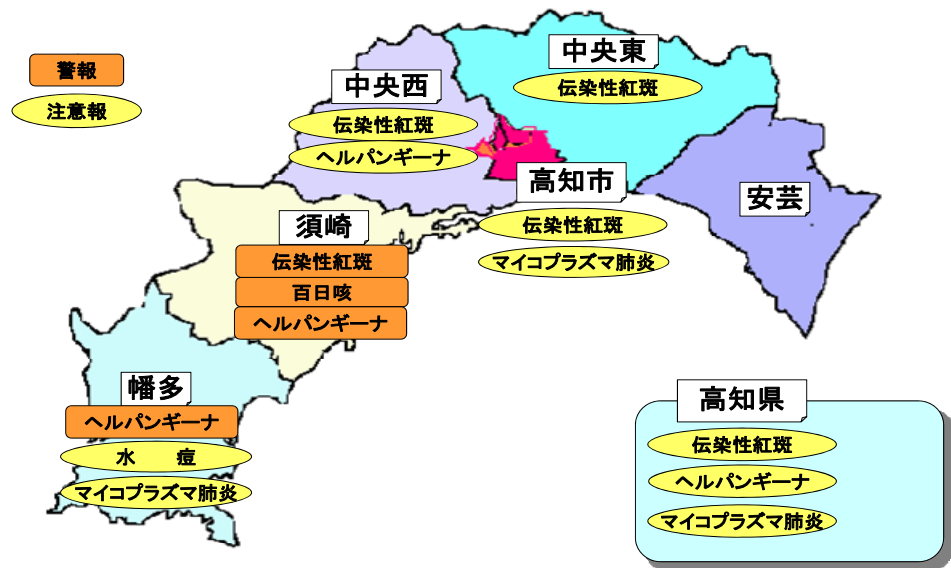
定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.07から0.13に増加しました。発熱、咽頭炎、結膜炎などの3症状を主な特徴とした小児の急性ウイルス性感染症で、プールで感染することが多いことから「プール熱」とも呼ばれています。予防法は、外出後、食事の前、トイレの後などの手洗い・うがいを行うことです。プールや温泉施設を利用する際は、前後のシャワーを必ず浴び、タオルは個別にし、手は石けん・流水で洗いましょう。

★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり(人)	県内の傾向
ヘルパンギーナ		3. 1 0	全ての保健所で増加した。幡多、須崎では警報値を、中央西では注意報値を超している。 流行のシーズンなので注意が必要。
感染性胃腸炎		2. 6 7	安芸、中央東で増加したが、全体では少しずつ減少している。
伝染性紅斑		1. 3 3	中央西、須崎、中央東、高知、幡多で増加した。須崎では警報値を、中央西、高知市では注意報値を超している。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 3 0	幡多、安芸、中央東で増加したが、全体では減少した。
水痘		0. 9 0	全ての保健所で減少した。幡多では注意報値を超している。

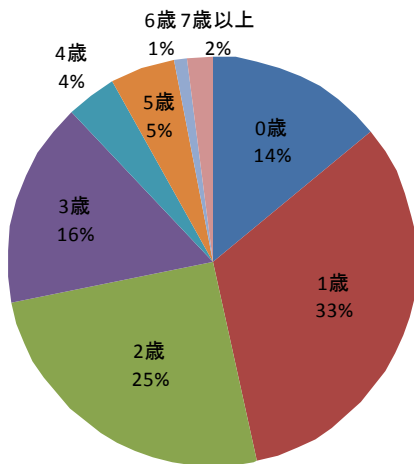
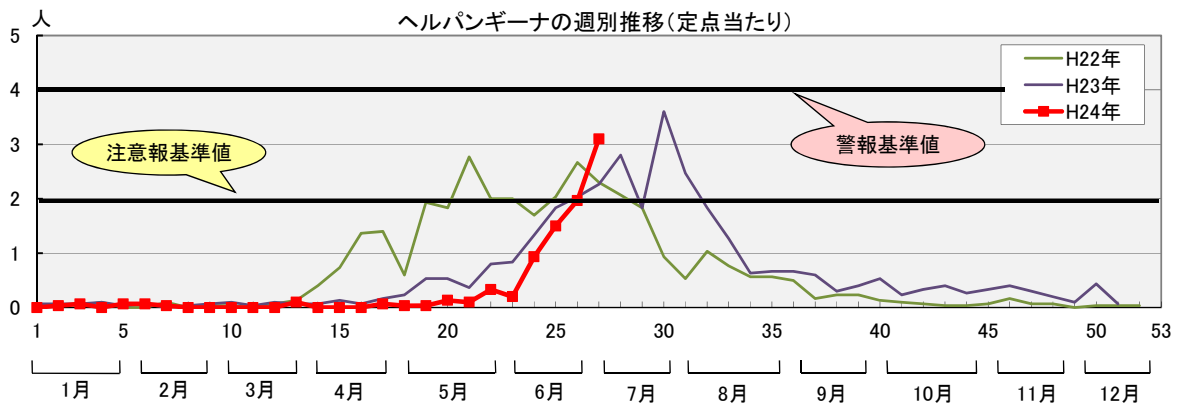
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

○ ヘルパンギーナ：3.10 (注意報値：2.00 警報値：4.00)

定点医療機関からの報告が定点当たり 3.10 (前週：1.97) と増加した。全ての保健所で増加し、幡多、須崎では警報値を、中央西では注意報値を超している。年齢別では 0～3 歳が 85%以上を占めている。今後の流行が考えられるので、手洗いやうがい、咳エチケットをして予防しましょう。



ヘルパンギーナ患者年齢区分

★ 病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
27	百日咳	1ヶ月	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	8	男	中央西	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	11	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	4	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	7	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	10	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	7	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	8	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	百日咳	7	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
27	マイコプラズマ肺炎	10	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
27	マイコプラズマ感染	5	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
27	マイコプラズマ肺炎	3	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
27	マイコプラズマ感染	12	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
27	マイコプラズマ感染	4	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
27	マイコプラズマ感染	8	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
22	気管支炎	1	男	高知市	Human bocavirus
25	気管支炎	4	女	中央東	Rhinovirus
26	風疹	11	男	須崎	B19 virus

* 「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★ 全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	2	77	60歳代(男)、30歳代(女)	中央東
4類	レジオネラ症	1	3	60歳代(男)	高知市
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	70歳代(女)	高知市

★ 定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 4例 (4、8、10、15歳)
	早明浦病院小児科	マイコプラズマ肺炎 3例 (10歳女、11歳女2名) 大川村で伝染性紅斑流行中
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ肺炎 5例 (6歳男女、7歳女、8歳男、9歳男) カンピロバクター腸炎 2例 (10、14歳女) 百日咳 1例 (PT-IgG160以上 53歳女)
	福井小児科・内科・循環器科	マイコプラズマ肺炎 1例 (4歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	带状疱疹 1例 (6歳女)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 4例 (1、3、4、5歳) マイコプラズマ肺炎 1例 (7歳) ヘルペス性歯肉口内炎 1例 (2歳男) 百日咳 26W LAMP法陽性 11例 今週臨床的に 7例
幡多	さたけ小児科	膿痂疹 1例 (3歳女)

★ 全国情報

第25週 (6/18～6/24)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核397例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症93例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎3例、つつが虫病8例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、
レジオネラ症26例

5類感染症：アメーバ赤痢4例、ウイルス性肝炎6例、急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群11例、ジアルジア症1例、
梅毒10例、破傷風2例、風しん45例、麻しん13例

報告遅れ：E型肝炎1例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、急性脳炎2例、梅毒1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

◆咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は主にアデノウイルス3型（他に1、2、4、5、6、7型等でもみられる）に感染することによってみられる咽頭炎、結膜炎を主とする急性ウイルス性感染症である。発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎（結膜充血、眼痛、流涙、眼脂）が3主症状であり、通常感染曝露からの潜伏期間が5～7日、有症状期間は3～5日といわれている。特異的な治療方法はなく、対症療法が中心となる。眼の症状が強い時には、眼科的治療が必要となることもある。感染経路は主に接触感染、飛沫感染であるが、その感染力は強力であり、タオル、ドアの把手、エレベーターのボタン、階段の手すり等の患者が触れたものを触ることによっても感染する場合がある。また、本疾患は症状消失後も約1カ月間にわたって尿・便中にウイルスが排出されるといわれており、更に感染しても症状のない無症候病原体保有者や、明確に3主症状を示さない例も少なからず存在すると考えられる。したがって、医療機関を受診して咽頭結膜熱と診断された者だけを隔離等の感染対策の対象としても、効果的な対策に繋がることは期待できない。特に感染経路の乏しい小児の集団生活施設である保育園、幼稚園、小学校等では流行時期になると集団発生がみられることも珍しくはない。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて咽頭結膜熱をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2012年第21週以降増加が続いていたが、第25週の定点当たり報告数は0.54（報告数1,700）となり、前週の定点当たり報告数0.56よりも減少がみられた。しかし、咽頭結膜熱の週別の報告数は、過去10年間をみてもその殆どが第27週から第30週までのいずれかにピークを迎えており、再び増加してくる可能性が高いと予想される。都道府県別では福井県（1.05）、佐賀県（1.00）、鹿児島県（0.98）、新潟県（0.97）、徳島県（0.87）、福岡県（0.82）、群馬県（0.78）の順となっている。第1～25週までの定点当たり累積報告数は7.51（累積報告数23,637）であり、年齢群別割合をみると0～1歳35.6%、2～3歳28.1%、4～5歳20.8%の順となっている。2000年以降では多くの年で2～3歳が最多を占めていたが、本年はこれまでのところ2009年と同様に0～1歳が最多である。

第1週からこれまでに咽頭結膜熱と診断された患者から検出されたアデノウイルス（総検出報告数32）では、アデノウイルス2型37.5%（検出報告数12）、3型および1型が共に18.8%（検出報告数6）の順となっている。1998年以降、咽頭結膜熱の患者から検出報告されてきたアデノウイルスでは3型が最多を占めてきたが、本年はまだ検出報告数が少ないものの、2型が多数を占めている。

咽頭結膜熱は夏季を中心に流行する疾患であり、その発生動向には今後とも注意深い観察が必要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第27週 平成24年7月2日(月)～平成24年7月8日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第27週					計	前週	全国(26週)	高知県(27週末累計) H24/1/2～H24/7/8	全国(26週末累計) H24/1/2～H24/7/1
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎					
インフルエンザ	インフルエンザ						()	()	766 (0.16)	16,405 (341.77)	1,620,955 (329.26)	
小児科	咽頭結膜熱			1	2		1	4 (0.13)	2 (0.07)	1,805 (0.57)	93 (3.10)	25,461 (8.09)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	12	16	2	2	6	39 (1.30)	48 (1.60)	7,231 (2.30)	1,515 (50.50)	173,188 (55.05)
	感染性胃腸炎	13	20	32	5	3	7	80 (2.67)	86 (2.87)	18,122 (5.76)	5,757 (191.90)	657,599 (209.03)
	水痘		3	7	5	2	10	27 (0.90)	49 (1.63)	3,847 (1.22)	1,576 (52.53)	118,010 (37.51)
	手足口病		1	4			5	10 (0.33)	5 (0.17)	1,833 (0.58)	64 (2.13)	13,916 (4.42)
	伝染性紅斑		7	17	5	7	4	40 (1.33)	23 (0.77)	673 (0.21)	681 (22.70)	14,729 (4.68)
	突発性発疹		2	3	2	1	5	13 (0.43)	17 (0.57)	2,089 (0.66)	360 (12.00)	43,563 (13.85)
	百日咳			4		7	1	12 (0.40)	11 (0.37)	103 (0.03)	210 (7.00)	1,990 (0.63)
	ヘルパンギーナ	2	11	21	10	9	40	93 (3.10)	59 (1.97)	7,153 (2.27)	292 (9.73)	20,094 (6.39)
	流行性耳下腺炎		1	4			3	8 (0.27)	11 (0.37)	1,560 (0.50)	514 (17.13)	39,644 (12.60)
RSウイルス感染症							()	1 (0.03)	348 (0.11)	620 (20.67)	26,037 (8.28)	
眼科	急性出血性結膜炎						()	()	10 (0.01)	()	283 (0.42)	
	流行性角結膜炎						()	()	400 (0.59)	22 (7.33)	9,476 (13.94)	
基幹	細菌性髄膜炎						()	()	11 (0.02)	6 (0.86)	238 (0.51)	
	無菌性髄膜炎			1			1 (0.13)	()	27 (0.06)	12 (1.71)	339 (0.73)	
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4 (0.50)	3 (0.38)	385 (0.83)	122 (17.43)	9,899 (21.24)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1			1 (0.13)	()	17 (0.04)	5 (0.71)	361 (0.77)	
計 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	57 (8.14)	114 (9.90)	31 (10.35)	31 (15.50)	83 (16.40)	332 (10.86)		46,380	28,254 (731.16)	2,775,782	
前週 (小児科定点当たり人数)	15 (7.50)	44 (6.30)	115 (10.17)	33 (11.00)	37 (18.50)	71 (14.20)		315 (10.42)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第27週					計	前週	全国(26週)	高知県(27週末累計) H24/1/2～H24/7/8	全国(26週末累計) H24/1/2～H24/7/1
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎					
インフルエンザ	インフルエンザ								0.16	341.77	329.26	
小児科	咽頭結膜熱			0.09	0.67		0.20	0.13	0.07	0.57	3.10	8.09
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.71	1.45	0.67	1.00	1.20	1.30	1.60	2.30	50.50	55.05
	感染性胃腸炎	6.50	2.86	2.91	1.67	1.50	1.40	2.67	2.87	5.76	191.90	209.03
	水痘		0.43	0.64	1.67	1.00	2.00	0.90	1.63	1.22	52.53	37.51
	手足口病		0.14	0.36			1.00	0.33	0.17	0.58	2.13	4.42
	伝染性紅斑		1.00	1.55	1.67	3.50	0.80	1.33	0.77	0.21	22.70	4.68
	突発性発疹		0.29	0.27	0.67	0.50	1.00	0.43	0.57	0.66	12.00	13.85
	百日咳			0.36		3.50	0.20	0.40	0.37	0.03	7.00	0.63
	ヘルパンギーナ	1.00	1.57	1.91	3.33	4.50	8.00	3.10	1.97	2.27	9.73	6.39
	流行性耳下腺炎		0.14	0.36			0.60	0.27	0.37	0.50	17.13	12.60
RSウイルス感染症								0.03	0.11	20.67	8.28	
眼科	急性出血性結膜炎								0.01		0.42	
	流行性角結膜炎								0.59	7.33	13.94	
基幹	細菌性髄膜炎								0.02	0.86	0.51	
	無菌性髄膜炎			0.20			0.13		0.06	1.71	0.73	
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.50	0.38	0.83	17.43	21.24
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20			0.13		0.04	0.71	0.77	
計 (小児科定点当たり人数)	8.00	8.14	9.90	10.35	15.50	16.40	10.86			731.16		
前週 (小児科定点当たり人数)	7.50	6.30	10.17	11.00	18.50	14.20		10.42				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869